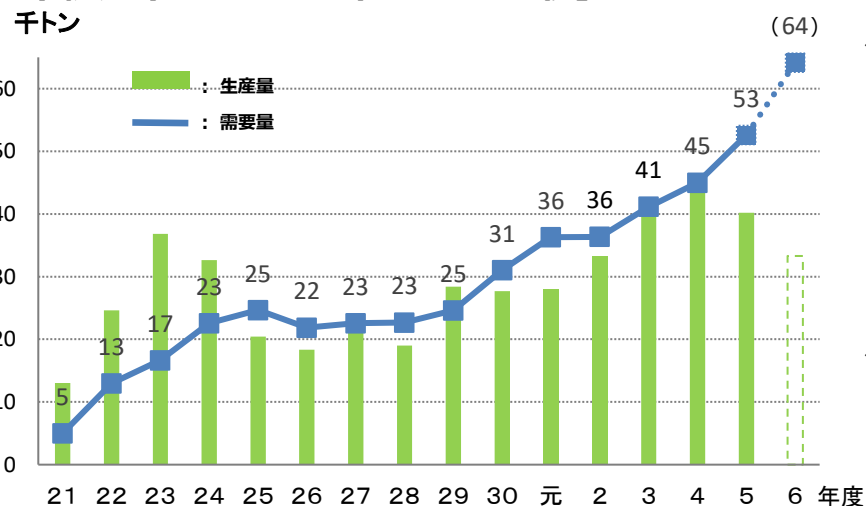


# 米粉用米の状況

- 米粉用米の需要量は、平成29年度まで2万トン程度で推移。平成30年には米粉の特徴を生かし、グルテンを含まない特性を発信する「ノングルテン米粉第三者認証制度」や「米粉の用途別基準」の運用を開始し、近年米粉の需要量が拡大。
- さらなる米粉・米粉製品の需要創出・利用促進に向け、令和6年度補正予算において、「米粉需要創出・利用促進対策事業（20億円）」を措置しているところであり、米粉の特徴を活かした新商品開発や機械設備の導入等を支援。

## 【米粉用米の生産量・需要量の推移】



注) 農林水産省調べ（平成21年度の生産量は計画数量、令和6年度の生産量については認定計画ベースであり、作柄等が反映された実績ベースではない。需要量は需要者からの聞き取り。数値は需要量）

## 【ノングルテン米粉表示】

- ◆ グルテンフリー表示は、欧米で制度化されている表示制度（グルテンの含有基準値20ppm）。高品質な日本産米粉をアピールするため、グルテン含有量1ppm以下の製品を対象に「ノングルテン米粉第三者認証制度」の運用を平成30年6月から開始。
- ◆ ノングルテン米粉を使用した加工食品のマークを令和元年9月に開始。



## 【ノングルテン米粉の製造工程管理JAS】

- ◆ 米粉の製造工程において、グルテンが混入する可能性のある箇所を特定し、グルテンの混入を防ぐことにより、製品のグルテン含有量が1ppm以下となるように製造工程を管理。



## 【米粉の用途別基準】

- ◆ 米粉の用途別の加工適正の統一表記（1番：菓子・料理用、2番：パン用、3番：麺用）を行う「米粉の用途別基準」を平成30年1月から開始。



(kgあたり)

	原料価格	製粉コスト等	販売価格
米粉	50円程度	90~290円程度	140~340円程度
小麦粉	60~75円程度	70円程度	140~150円程度

【参考】製造規模や製品の販売ロット（製造施設の稼働率や輸送費に影響）による米粉の製粉コスト等

- 製造量が年間約300トン以上の製粉企業
  - ・大口ロット（フレコン/10トン単位）：90円/kg程度
  - ・小口ロット（紙袋/1トン未満）：290円/kg程度
- 製造量が年間約300トン未満の製粉企業
  - ・大口ロット（フレコン/1トン単位）：200円/kg程度
  - ・小口ロット（紙袋/30kg単位）：450円/kg程度

※製粉コストは令和4年度米粉用米等の取引価格・製粉数量等の実態調査の結果による

注1) 米粉原料価格は企業購入価格（平均値）であり、農家出荷価格とは異なる場合がある。

注2) 販売価格は大手企業から聞き取った業務用価格（令和5年度）。